

A photograph of a schoolyard. In the foreground, a group of students in white shirts and dark shorts are holding hands in a circle, some wearing white or red caps. In the background, there is a school building with a large water tank on the roof and a fenced area. The scene is set against a backdrop of lush green trees on a hillside.

# 地方と都市を結ぶ 新しい学校のかたち

**DUAL school**

デュアルスクール

徳島県教育委員会



## おいでよ、わたしたちの町に

地方の学校、都市部の学校  
どちらの良さも体験してみませんか。

デュアルスクールとは、地方と都市、2つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができる「新しい学校のかたち」です。大人たちの「働き方改革」が進む今、子どもたちの「学び方」ももっと多様でいいのではないか。

一定期間、保護者と子どもたちが住所地とは異なる地域に居住し、学校に通う。

地域の一員としての生活・通学体験を通じて、地方と都市それぞれの良さや違いを知り、複数の視点と多様な価値観を持った子どもたちの育成を目指します。





## デュアルスクールに 期待される効果

### 対象児童

- ・地方と都市双方での生活を体験することによる多様な視点と思考力の育成

### 保護者

- ・新たな働き方やライフスタイルを実現するきっかけづくりや移住先の教育環境に対する不安の払拭
- ・子どもと過ごす時間の増加

### 受入学校・児童生徒

- ・新しい人間関係づくりの体験
- ・地方と都市の違いを知る機会の創出や我が町・我が県の良さの再発見

### 受入地域

- ・交流人口や関係人口の増加による地域の活性化や移住の促進

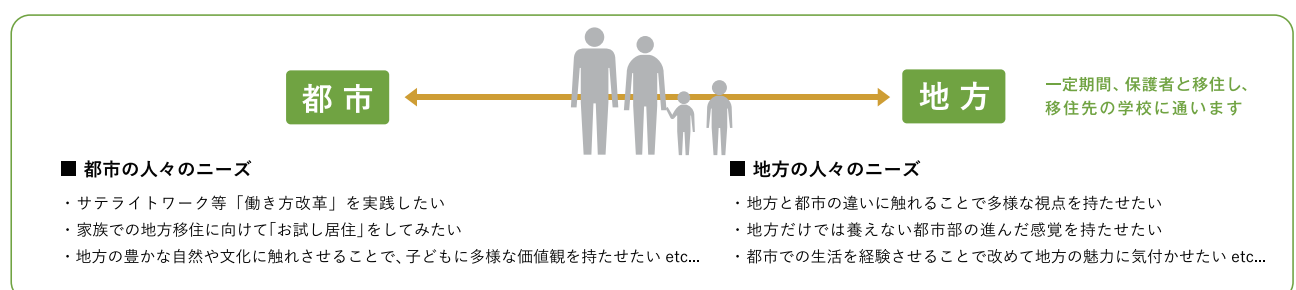
## 対象となる児童・生徒

- ・都市部（首都圏・中京圏・近畿圏等）及び徳島県内の公立小中学校に通学する小学1年生から中学2年生程度までの児童・生徒
- ・保護者と共に受け入れる学校がある市区町村内で生活できる児童・生徒
- ・社会や学校の規則・マナーを守り、他の児童生徒と協力して落ち着いた学校生活を送ることのできる児童・生徒。

これまでの実施状況：8家族、計16回  
※1年間に複数回の行き来も可能

## 実施にあたっての詳細

- ・「区域外就学制度」により、住民票を異動せずに転校することが可能です。
- ・徳島と都市部の2つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができます。
- ・期間や回数は個人の希望に合わせて調整できます。
- ・徳島県の小中学校には、学習進度の違いを調整するための「デュアルスクール派遣講師」を配置し、児童生徒の学習を支援します。
- ・受入学校での就学期間も住所地の学校では欠席とならず、双方の学校での授業日数が出席として認められます。







## 体験したご家族

祖父母の家で暮らす体験をさせたい、  
多様な働き方と生き方を実践したい、  
自然豊かな場所で子供との時間をたっぷり持ちたい、  
地方移住を検討している・・・

デュアルスクールで来られるご家族の  
背景は実に様々です。  
普段の生活とはちょっと違った場所での暮らしと  
学校生活を通じて、どんな発見や気づき、  
成長があったのか。  
体験者の方々の声をまとめました。



東京都  
↓  
徳島県美波町

- ・学 校 : 美波町立日和佐小学校
- ・学 年 : 2年生～4年生の3年間、  
通算5回実施
- ・期 間 : 2週間
- ・きっかけ: 母親が働く企業(本社は東京)が  
美波町にサテライトオフィスを開設

### 体験してみてもう

東京にいても在宅ワークはできるとは思いますが、子どものことを考えると、ある程度余裕を持って、仕事もできて子どもも遊べるスペースがあることが重要かなって思います。東京の家では、私が仕事に子どもは自由に遊ぶことができないし、逆に子どもが遊んでいる時には私が仕事に集中できない。美波町で滞在した施設は、オフィスと居住スペースが一緒になっているので、私は仕事に集中できましたし、子どもも訪ねてくる近所の友達と自由に遊べていました。また、母親が働いている姿を見ているからか、自ら家事なども手伝ってくれるようになって、子どもの成長を感じることもできましたね。



東京都  
↓  
徳島県海陽町

- ・学 校 : 海陽町立穴喰小学校
- ・学 年 : 1年生～2年生の2年間、  
通算5回実施
- ・期 間 : 2週間
- ・きっかけ: 母親の実家が海陽町。同町での起業  
などに関心があったため実施を決意

### 体験してみてもう

東京での生活と比較すると、たくさんの出会いがありました。息子は恥ずかしがりなのですが、初日を乗り越えたら、みんなとも馴染み、大変生き生きしていました。学校から帰宅しても「海行きたい!公園行きたい!」と言う。公園の規模も東京と違い、とてもダイナミックなので楽しかったのだと思います。地域との交流もあり、一緒に藍染体験に参加して一次産業の大切さを学ぶことができました。子どもにとっても、親である私にとっても、このデュアルスクールで、人生の視野が広がったと思います。東京で生まれ育って東京で仕事をする、ということが「普通」になってしまっていますが、この経験で子どもが色々な場所で生活することが「普通」になればと期待しております。この年齢からたくさんの人と出会い、刺激を受けた息子の成長が楽しみです。今後もまた利用したいと考えています。



## 東京都 ⇄ 徳島県美波町

- ・学 校 : 美波町立日和佐小学校
- ・学 年 : 小学3年生、5年生  
※ 兄弟で実施
- ・期 間 : 2週間
- ・きっかけ: 家族との時間を犠牲にすることなく、サテライトオフィスでの業務に従事するため。

### 体験してみてもう一度

普段とは違う場所での生活・通学体験を通じて、子どもは少し遅くなった感じがしますし、普段の何気ない会話が増えました。子どもの視野を広くしてあげたいな、と思っていたのでちょうど良い機会だったと感じます。サテライトオフィスで勤務しながら家族と過ごすことができ、安心して仕事に取り組むことができてよかったです。



## 東京都 ⇄ 徳島県阿波市

- ・学 校 : 阿波市立久勝小学校
- ・学 年 : 小学2年生、4年生、6年生  
※ 兄と妹2人で実施
- ・期 間 : 2週間
- ・きっかけ: 移住と就農を検討中で、何度か阿波市に滞在経験あり。子供たちが移住後の生活になじめるか最終確認のため。

### 体験してみてもう一度

移住に向けての最終確認だったのですが、上の子も下の子も、学校生活によく馴染んでやれていたようで安心しました。放課後や週末にはお友達と遊んだり、農作業も率先して手伝ってくれたり、移住後の子どもたちの反応や生活が少し不安だったのですが、それらがクリアになったので良かったです。



## 東京都 ⇄ 徳島県吉野川市

- ・学 校 : 吉野川市立知恵島小学校
- ・学 年 : 小学4年生
- ・期 間 : 2週間
- ・きっかけ: 母親の実家が吉野川市。帰省するタイミングで田舎での暮らしと学校体験をさせたかったから。

### 体験してみてもう一度

徳島と東京の違いを知ることかと思ったり、そうではなくて、違う環境の中の同じ部分に着目していたところに驚きました。東京のあの子と徳島のあの子は、こんなところが同じで楽しいとか。学校と家と限られた世界で生きる子どもにとって、そういった視点を持てたことが一番良かったなと思います。



## 大阪府 ⇄ 徳島県美波町

- ・学 校 : 美波町立日和佐小学校
- ・学 年 : 小学1年生、3年生  
※ 姉と弟で実施
- ・期 間 : 2週間
- ・きっかけ: 二拠点居住を検討中。移住イベントで美波町を知ってから定期的に遊びに来ていたが、もっと地域の生活を知りたいと思ったから。

### 体験してみてもう一度

子どもが子どもらしく、大人の私たちもすごく人間らしくいられる、田舎っていいなと感じました。友達と喧嘩しても言いたいこと言って次の日には仲直りするような、子どもらしい良い関係が築けていてすごいなと。都会だと遠慮しちゃう関係もこっちだと積極的にいけるし、ストレスが少ない。子どもにも親にもすごく貴重な時間だなんて思いました。



## 東京都 ⇄ 徳島県三好市

- ・学 校 : 三好市立箸蔵小学校
- ・学 年 : 小学4年生、6年生  
※ 姉妹で実施
- ・期 間 : 3週間
- ・きっかけ: 忙しい東京での生活から離れ、静かな場所で子供とゆっくり向き合う子育てをしたいと思ったから。

### 体験してみてもう一度

時間がすごくあるなと感じました。普段、私は仕事に、子どもは習い事に忙しくて、家で一緒に座っている時間もあまりなくて。こっちだと予定がないから「今日は何しようか」と交わす言葉も増えました。予定がない、忙しくない、そんな「余白」が私や子どもたちの心の余裕をつくってくれた気がします。



## 東京都 ⇄ 徳島県美波町

- ・学 校 : 美波町立日和佐中学校
- ・学 年 : 中学2年生
- ・期 間 : 2週間
- ・きっかけ: 父親が美波町の企業で単身赴任中。夏休みで遊びに来た際に本人が日和佐を気に入り、実施を決意した。

### 体験してみてもう一度

田舎には都会にないモノがたくさんある、そのことに改めて気がつきました。東京や海外でも暮らしましたが、美波町の生活はとても楽しそうでした。若い頃から多面的な視点を持てることは親としてとても嬉しい。東京では食べなかった野菜を美味しく食べる、部活に励んだり、前より少し活発になった子どもの姿が印象的でした。



## 受入学校・地域の方々

受入学校や地域にとって、デュアルスクールで来た児童・生徒とそこそご家族は、まさに「新しい風」。普段の生活に、別の地域から来た友達が入ることによって、相互にいい影響を与えます。

受入学校の先生や地域の方々に、デュアルスクールをきっかけとしてどんな変化があったのか聞きました。

### 子どもたちの新しい一面が知れた 小学校 教諭

人数が少ない学校なので、東京から1人クラスメイトが来ることは一大事。慣れ親しんだ輪の中に新しい友達を受け入れる、その過程で、今まで私も知らなかった子どもたちの一面にとっても感心しました。「変化に対してそんな風に感じるんだな、困ってる子にそんな風にできるんだな」って。デュアルスクール児童と受け入れ側の子どもたちがお互いの個性に触発されて、いい影響を与え合っているなと感じましたね。

### 「新しい風」がいい刺激に 小学校 教諭

東京から（短期の）転入生が来ることで、普段は絶対取り上げないような話題が増えました。子どもたちの興味関心の幅も広がったし、「東京ではそんなことしないよ」ってこちらの「普通」に違う視点や意見をくれたことも、とてもいい刺激だったと思います。クラスのコミュニケーションも活発になり、いろんな意味で視野も広がった。私にとっても子どもたちにとっても良い経験だったなと思います。

### 子ども神輿が復活しました！ 地域の方

地域の子どもの数が減って、秋祭りの恒例だった子ども神輿ができなくなっていたのですが、デュアルスクールでお子さんが来てくれたのをきっかけに、復活したんです！よそから来た子がやりたいと言ってくれているのに、元々住んでいた我々が応えないのはよくないっていうので、他の地区からも子どもたちを集めて担ぎ手になってもらいました。みんなで復活させた子ども神輿を見たときは感動しましたね。

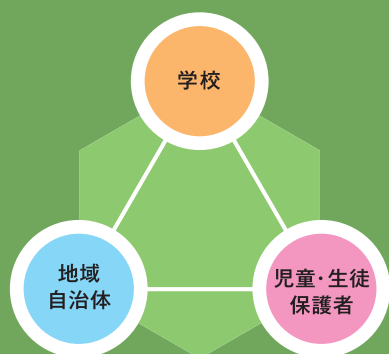
### 東京にお友達ができて嬉しそうな息子 受入学校の児童のお母さん

少人数の学校で、クラスには小さい時から一緒に育った友達ばかり。そんな中に東京から友達が来たことで、良い意味で少し緊張感が出た気がします。宿題を忘れずするとか、困っていたら声をかけるとか、「かつこ悪いところは見せられない」って子どもなりに思ったのかなと。今までイメージでしかなかった「東京」が、「友達の住む場所」になって、子どもの視野や世界が少し広がったんじゃないかなって思います。

### 「違い」を楽しんでいる様子 デュアルスクール派遣講師

担任の先生の教え方が上手だったこともあると思いますが、東京とは違い少人数制であることで、勉強が楽しかった様子でした。また、土の校庭が新鮮だったようで、ずっと触って遊んでいました。他の学年との交流もあり、刺激的だったと見受けられました。

デュアルスクールは 児童・生徒、学校、地域、  
みんなの笑顔をつなぎます。



デュアルスクールは、地方と都市、2つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができる「新しい学校のかたち」です。実施される子どもたちやそのご家族はもちろん、受け入れる学校の子どもたちや地域にも、大きな気付きや学び、成長の機会を与えてくれます。

「多様な働き方や価値観が生まれ認められつつある今、子どもたちにも多様な学びの機会があってもいいのではないか。」

そんな思いから、わたしたちはこの制度をつくりました。これまでの「当たり前」が当たり前ではなくなりつつある現代で、広い視野を持ち、未来を自分の手で選び取る力を子どもたちに持ってもらいたい。正解のない未来を生きていく日本中の子どもたちに、デュアルスクール という選択肢を届けたいと思っています。

## 徳島県

面積 **4,146.80km<sup>2</sup>**  
総人口 **727,281人** (推計人口：2020年1月1日)  
人口密度 **175人/km<sup>2</sup>** 県の花 **すだちの花**  
県の木 **ヤマモモ** 県の鳥 **シラサギ**

徳島県は四国の東端に位置し、海と山に囲まれた自然豊かな場所です。お遍路をはじめ古からの歴史・文化を大切にする一方、光ファイバーによる高速インターネット環境を県内全域に整え、日本一のサテライトオフィス数を誇るなど、先進的な取り組みも積極的に行っています。



うだつの町並み



祖谷のかずら橋



藍の館



うみがめ博物館カレッタ



蒲生田岬



鳴門の渦潮



大塚国際美術館



阿波おどり







お問合せ・お申込み

徳島県教育委員会 教育創生課

電話：088-621-3183

Fax：088-621-2880

[kyouikusouseika@pref.tokushima.jp](mailto:kyouikusouseika@pref.tokushima.jp)

デュアルスクール 推進事業コーディネート・プロモーション担当

株式会社あわえ

電話：0884-70-5831

Fax：0884-70-5832

[info@awae.co.jp](mailto:info@awae.co.jp)



デュアルスクールの詳細は  
ホームページをご覧ください